

# メダカ救出大作戦

## 背景

一般国道7号青森環状道路において、環境庁指定の「絶滅危惧種Ⅱ類」に選定されている「メダカ」が確認されました。

「メダカ」の保護や生息環境を守るために「メダカ対策検討懇談会」を設置し、生息するメダカの保護の一環として、生態等の講話も含めた「メダカ救出大作戦」を実施したものです。

## 内容

「メダカ救出大作戦」では、原別小学校の体育館で行われた開会式で、弘前大学の佐原教授からメダカの基礎的な生態やメダカ減少の理由について講話をしていただきました。

その後青森環状道路の現場へ移動し、メダカのすくい方等の指導を受けた後、実際の水路においてメダカの救出を行いました。



メダカのすくい方を教わっています



みんなでメダカを救出中



メダカは入っているかな？



愛おしそうにメダカを放流する児童達

## ポイント

○メダカを救うという実体験を通し、メダカという小さな命の大切さなど生物の尊さについて学習しました。

○道路整備がなぜ必要なのかと、自然環境の大切さについての考えを高めました。

## DATA

場 所：青森県青森市  
 実 施 者：青森工事事務所 地域づくり推進室 [TEL (017) 734-4521]  
 参 加 者：青森市立原別小学校3年生 87名、先生 4名、その他 29名  
 実 施 日：平成12年8月29日  
 学 習 時 間：3時間

関係する分野



## 成果

道路整備が地域社会に果たす役割や、自分たちの暮らしとの関わりを児童に理解してもらいました。また、そこにすむメダカを自分たちの力で救出し、生物の大切さを認識しました。体験後は感想文を書いてもらい、その中から12名が表彰されました。よろこびや感動を文章にいきいきと表現する力をつけることができたようです。

## 参加者の声

「初めてメダカをとった。十匹くらいとれて、すごくうれしかったけど、道路ができて、住むところになくなっちゃうのはかわいそう」

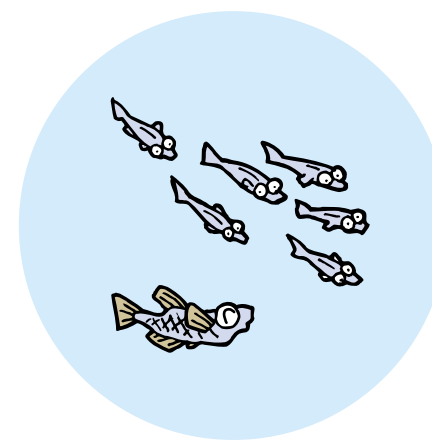
(青森市立原別小学校 3年生)

「学校の水槽の中のメダカを見たことはあるけど、自然の中でメダカを見るのは初めて」

(青森市立原別小学校 3年生)



陸奥新報 平成12年8月31日



読売新聞 平成12年8月30日

## 次のステップに向けて

- 道路整備等の事業が地域にもたらす影響を考え、地域づくりへどう活かされているかなど発展的な学習も考えられます。
- 環境問題が重要視されている現在、自然環境を考慮した公共事業を学習の中に取り組みでいく必要があります。(青森環状道路では現在市民によるビオトープ設計を実施中です。今後の取り組みや管理などを含め、総合的に進めていく必要があります。)
- 人間と自然がいかに共存していくかを学習することも考えられます。